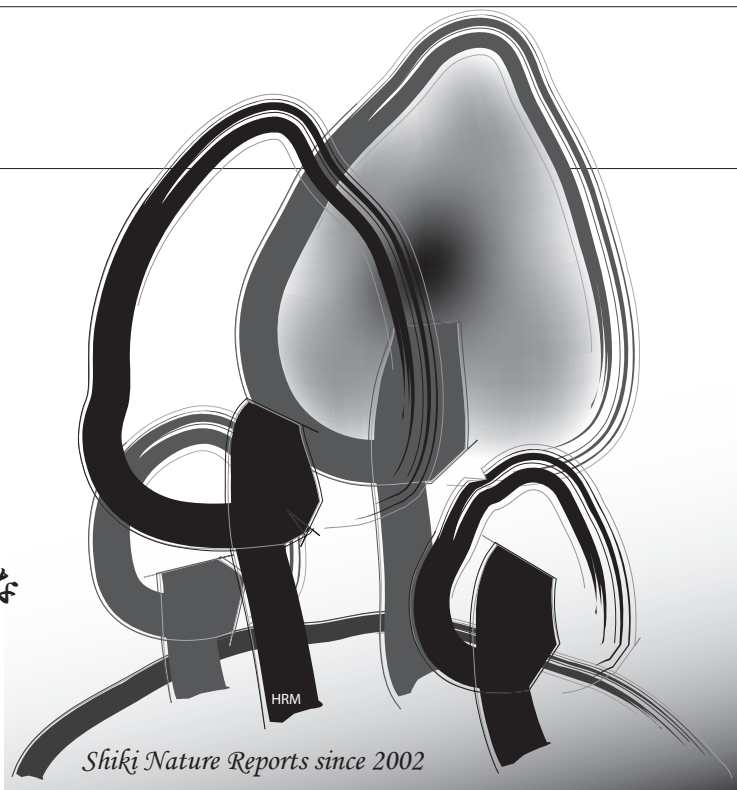


夏の句

haiku

むつつりと筍伸びてゐたりけり
筍を置いて背広に袖とほす
足すつば抜けて手をつく田植かな
雲に急かされて植ゑたる田んぼかな
田を植ゑてしばらく風の中にをり

(Maekita)



dessin

Art

2期の授業が始まり、テスト期間中の緊張感がゆるんで、普段の志木高の雰囲気に戻ってきました。1年生の美術 I の授業では例年、1 期に構内での風景デッサンの課題を課しています。私が今年担当しているクラスでは、練習課題をおこなったあとに風景デッサンに取り組んでももらいました。

多少練習したとはいえ、初めてデッサンを描く人にとって、暑い屋外で風景と対峙しながら画面と格闘するのは大変だったと思います。しかし、志木高ならではの豊かな自然や美しい光の中で過ごす時間は、案外気持ちのよいものだったのではないのでしょうか。これほど志木高の自然をまじまじと観察する機会は、3年間でそれほど多くはないかもしれません。

デッサン (dessin) という言葉は、日本では主に単色の鉛筆や木炭などで描かれた絵画のことを指します。目で見ている対象のかたちや陰影を把握し、それを的確に絵としてアウトプットする練習として、基礎画力を身に着けるためによくおこなわれます。

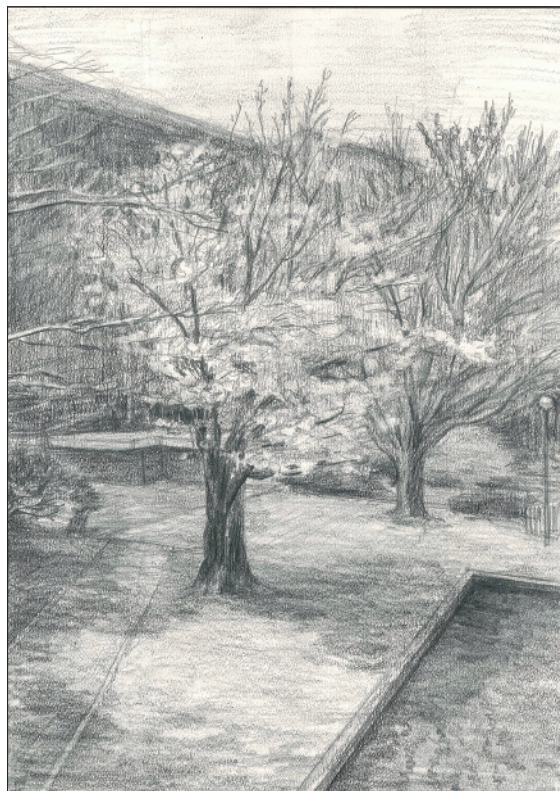
デッサンは単純に絵がうまくなるために取り組むことでもあります。各々の目に映っている物や現象を客観的に(固定観念なしに)「見る・観察する」ための訓練にもなります。ただなんとなくではなく、描くために対象を見つめ、物の位置関係やスケール、光と影の様相を観察することで、対象物の在り方を理解することにつながります。

それは美術の中だけでなく、様々な分野で活かすことができる物事の見つめ方なのではないかなと私は考えています。

(みなさんにとっては長かったかもしれませんが)

短い時間の中で、そんな奥深いデッサンの意義を少しでも伝えられたらなと思いながら、指導をしていたのでした。

(Nakane)



今年の関東地方の梅雨入りは平年どおりの6月7日でした。その後、かなりの量の雨が降りました。6月の東京の降水量は436.5ミリ、このうち台風6号の通過によるものが182.0ミリあったので、それを差し引いても254.5ミリです。6月の平年値は167.8ミリなので、6月は総雨量で約2.5倍、台風の分を引いても約1.5倍の雨が降ったことになります。

天気図は関東地方が梅雨入りした6月7日、その二週間後の6月22日、今週の7月6日のものです。東西に伸びる梅雨前線がこの一か月の間、本州の南にずっと居座っています。時折、北上したり南下したりして本州に雨を降らせています。なぜこのように前線が停滞するのか？その理由はオホーツク海にある高気圧が停滞していることにあります。今年はこの高気圧の勢力が強く、南から張り出そうとしている太平洋高気圧をブロックしています。じつは二つの高気圧から吹き出す風が集まるラインが梅雨前線です。ここに空気が集まり、ぶつかった空気は上昇し雲をつくります。今年はおホーツク海高気圧の勢力が強く、このラインがなかなか北上しない。なので、梅雨前線が一か月ほど停滞し続けています。

(詳しく知りたい人は「自由選択地学」をおすすめします！)

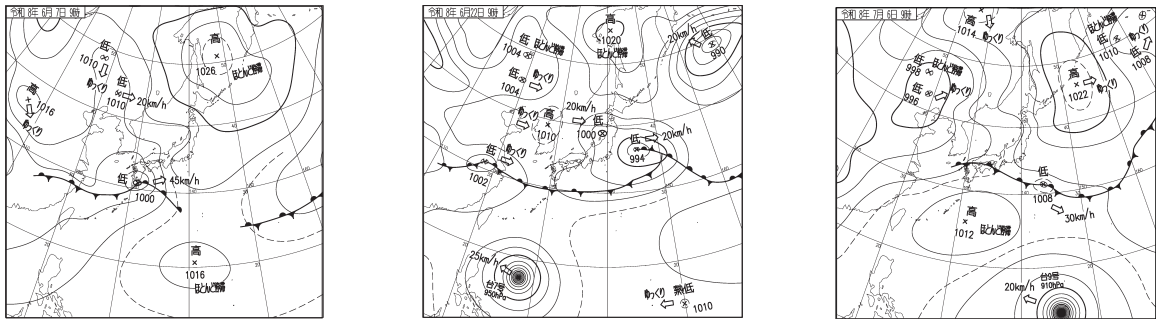


図 (左) 6月7日、(中) 6月22日、(右) 7月6日の地上天気図

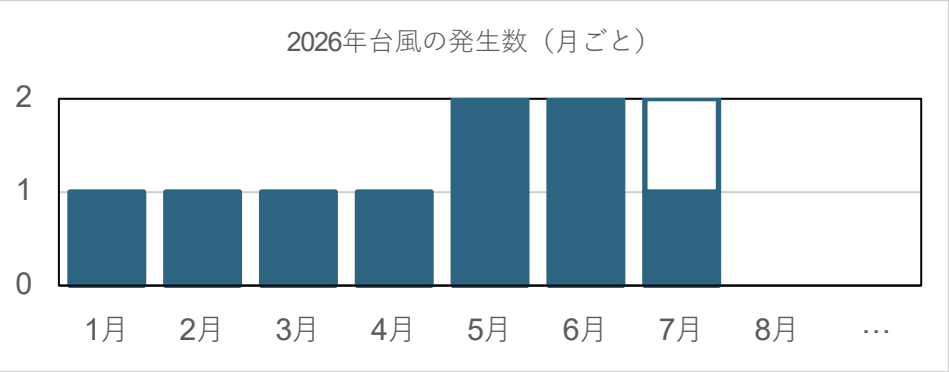
次は台風。今年は一月から毎月、台風が発生しています。六月には早くも関東地方に台風が接近し、学校が休校になったり、試験の時間が遅れたりしましたね。そして今週は台風9号が沖縄の先島諸島、台湾方面に向かっていきます。7月上旬で9号というのは例年と比べるとハイペースで、毎月台風が発生しています。果たして今年は何個の台風がつけられるのでしょうか。

台風が接近すると、大雨、暴風、高潮など、さまざまな注意報、警報が発表されます。2026年5月29日から気象の警報などが大きく変わりました。大雨や洪水、高潮、土砂災害など、それぞれ別々な基準となっていたものを統一し、わかりやすいものになりました。

警報の種類は河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮の4つ。洪水警報は氾濫警報と名称が変わりました。「警報」と「特別警報」の間に「危険警報」というカテゴリーができました。警報が出たら「危険な場所から高齢者避難」、危険警報になったら「危険な場所から全員避難」、特別警報はすでに災害が発生している恐れがあることから「命の危険、直ちに安全確保」です。

さらに、警報レベルを1～5の色と数値で表すことでわかりやすくなりました。

(注意情報) < (注意報) < (警報) < (危険警報) < (特別警報)



	河川氾濫	大 雨	土砂災害	高 潮
警戒レベル 5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

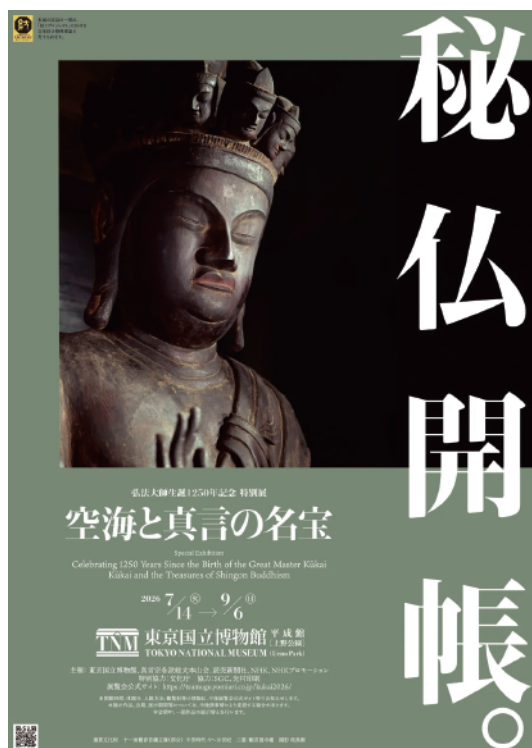
今年も夏の大雨や台風による災害は、日本のどこかで起こることでしょう。スマホ等で早めに情報を収集し、間違った行動をしないよう心がけましょう。

(Higuchi)

1期の成績をようやく付け終わって、この原稿をどうしようかと思っていたちょうどそのタイミングで、数年前に3年生で担任をした卒業生からメールをもらった。志木高から法学部に進み、卒業後に就職した新聞社の文化事業部で、上野の東京国立博物館で間もなく開催される特別展「空海と真言の名宝」（7月14日～9月6日）を担当しているとのこと。この夏、東京では仏教美術をテーマにした展覧会がいくつも開催されるが、そのうちおそらく最も大規模なものがこの展覧会である。没後に「弘法大師」の号をおくられた平安時代の僧・空海（774-835）の生誕1250年を記念しての開催で、空海が開いた真言宗の主要な16派の中心寺院18ヶ寺で構成される「真言宗各派総大本山会」が主催者に名を連ねている。現地でも33年に一度しか観られない三重・観音寺の十一面観音菩薩立像（平安時代の製作で重要文化財。先行チラシに写真掲載）など、「秘仏」の特別公開が特に注目される展覧会である。

このほか、三井記念美術館では特別展「京都・真如堂の名宝一極楽浄土へのあこがれ」が開催中（8月30日まで）、大倉集古館では企画展「祈りと救いの美—国宝普賢菩薩騎象像」（7月28日～9月27日）が開催予定である。さらに、東京に限らなければ、この夏、最も注目すべき仏教美術展は、奈良国立博物館の「南都仏画—よみがえる奈良天平の美」（7月18日～9月13日）。米国・ボストン美術館との国際共同企画で、奈良時代に描かれた釈迦霊鷲山説法図（もと東大寺に伝わり、法華堂根本曼陀羅とも呼ばれる）やその他の貴重な仏教絵画が米国から里帰りする。九州国立博物館の特集展示「九州渡来仏」（8月30日まで）も、2012年に盗まれて昨年韓国から返還された対馬・観音寺の観音菩薩坐像が展示されるなど、小規模ながら見逃せない。

1期、私が歴史総合を担当しているクラスの1年生には、自由課題として展覧会評を書いてもらった。その中のいくつかが、展覧会の評価基準の一つとして「没入感」を挙げていたのが気になった。最近では宗教美術の展示でも、VR映像によりまるで現地（山中の寺社）を訪れたかのような体験が得られることをうたう展覧会が実際にあるし、仏像の社会的機能を考える上で、現地を訪れることにはもちろん大いに意味がある。ただ、博物館の良いところは、信仰対象としてではなく、むしろ作品（仏像）との心理的な距離を保ったまま、「没入」せずに冷めた目で仏像を見られることではないだろうか。



しかも博物館なら、もともと所蔵先が異なる複数の仏像を並べて、比べて見ることもできる。歴史史料は比べることにより多くの情報を引き出すことができる（歴史総合の1期の試験にも出した通り）。では、仏像は比べることで何が分かるのか。まずは同じように見えても結構違う、ということに気がついてほしい。観音寺の像が注目されるのも、「秘仏」であることに加え、変わったかたちをしているからだ。違いに気づいたらその理由を考える。時代、地域、宗教的意味。違いの要因は様々に考えられる。それを突き止めるためには、仏像以外の資料も利用する必要がある。東京国立博物館には資料館（図書館に当たる施設）もあるので、寄ってみても良いかも知れない（開館日に注意）。

真夏でも、博物館は資料のために温湿度を一定に保っている。涼しい展覧会会場の中、なるべく冷めた目で、たくさんの仏像を見比べてみたい。

[2026年4月～2026年7月までの開花情報]

Wood

【5/25】サツキ
【5/25】キウイフルーツ
【5/1】カキノキ
【5/25】クリ
【5/1】ニオイシュロラン
【5/25】シュロ
【5/9】ミカン
【4/15】ケヤキ
【6/11】アオギリ
【5/29】ナンテン
【7/1】サルスベリ
【7/1】ムクゲ
【5/1】エゴノキ
【5/1】シラカシ
【5/1】イボタノキ
【4/25】ヤマボウシ
【5/15】アカメガシワ
【5/1】ユズリハ
【4/25】ノイバラ
【5/9】クロマツ♂
【5/25】ムラサキシキブ
【5/25】マデバシイ♂
【6/11】アジサイ(生殖花)
【5/25】アジサイ(装飾花)
【5/29】イヌツゲ
【6/11】ムクロジ
【5/1】ユリノキ
【5/25】クスノキ
【5/1】ニセアカシア
【5/17】キリ
【5/25】オニグルミ

(Atsuta-koji)

(Aramaki)

(Miyahashi)

執筆・担当区分	天文・気象	樋口 聡 (Higuchi)
	歴史・美術 (博物館)	原 浩史 (Hara)
	俳句	前北 馨 (Maekita)
	美術	中根 唯 (Nakane)
	植物・地質 他[&発行責任]	宮橋 裕司 (Miyahashi)
	植物画・編集	荒巻 知子 (Aramaki)